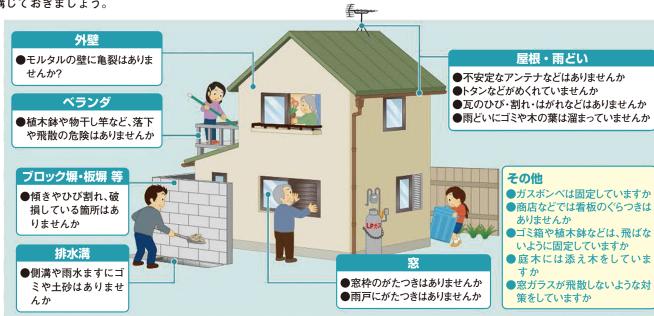
#### 風水害への備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策 を講じておきましょう。



## 洪水・豪雨時の危険個所



#### ●地下道(アンダーパス)

道路や鉄道などが立体交差 する場合、その下を通る地下道 を"アンダーパス"といいます。 大雨・洪水時アンダーパスは 真っ先に冠水してしまいます。

車両の場合、約30㎝以下の冠水で 走行困難になる場合があります。

●地下階 豪雨時の地下室は危険です!



地下室では外の様子が わかりません。



水圧でドアが開かなくなり



地上が冠水すると、一気に 水が流れ込んできます。



浸水時の水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険 が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そ のような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2

階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。

地下駐車場は浸水するお それがあります。



浸水すると電灯が消え、エ レベーターは止まります。

#### 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

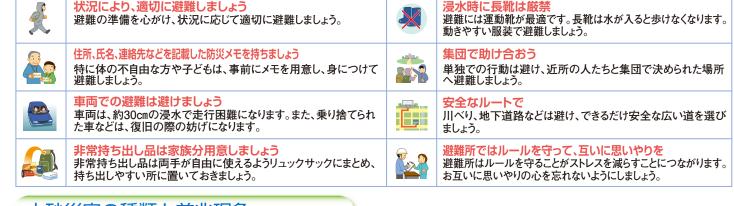
災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

## 知っておくべき5つのポイント

- ●避難とは[難]を[避]けること。 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありま せん。
- ●避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全 な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ●マスク・消毒液・体温計は、できるだけ自ら携行して 下さい。
- ●災害時には避難場所、避難所が変更・増設されている 可能性があります。 最新情報は市ホームページ等で確認して下さい。
- ●豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。 やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲 の状況等を十分確認して下さい。

#### 避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合 には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



### 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るため には、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難しましょう。

がけ崩れ(急傾斜地)

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然 崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付 近で起きると逃げ遅れる人も多く、犠牲者の割 合も高くなります。



長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と 砂が水と一体となって一気に下流へ押し流さ れる現象です。



大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、 水の力によって持ち上げられた地面が広い範 囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。

こんなときは要注意		土砂災害の前ぶれ(前兆現象)	
前兆現象の種類	がけ崩れ(急傾斜地)	土石流	地すべり
山・斜面・がけ	<ul><li>●がけに割れ目が見える。</li><li>●がけから小石がパラパラと落ちる。</li><li>●斜面がはらみだす。</li></ul>	●渓流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が生じる。	<ul><li>●地面にひび割れができる。</li><li>●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったりする。</li></ul>
水	<ul><li>●表面流が生じる。</li><li>●がけから水が噴き出す。</li><li>●湧水が濁りだす。</li></ul>	●川の水が異常に濁る。 ●雨が降り続いているのに川の水位が下がる。 ●土砂が流出する。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさが急減する。
樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が混じりだす。	●樹木が傾く。
音	●樹木の揺れる音や、根が切れる音がする。 ●地鳴りがする。	<ul><li>●地鳴り、山鳴りがする。</li><li>●転石のぶつかり合う音がする。</li></ul>	●樹木の根が切れる音がする。
におい		●腐った土のにおいがする。	
その他		●渓流内に火花が発生する。	●家や擁壁に亀裂が入ったり、擁壁や電柱が傾く。

#### 土砂災害警戒準備情報 …土砂災害の可能性がある場合に発表

- **土砂災害警戒情報** …土砂災害の危険性がさらに高まった場合に発表

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず土砂災害が起きるというものではありません

# 自分で行う災害への備え

## 避難場所の確認など

- ▶避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく
- ●普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく
- ●避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく